

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	清瀬市立第1保育園
施設所在地	清瀬市松山3-1-73
法人名	清瀬市

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・冬の虫を見つけよう！観察してみよう！

自然豊かな保育環境の中、冬の虫の環境に興味を持ち、調べて見る。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・寒くなり、毎日探し触れていた虫の姿が見えなくなり、子ども達から「寒くなると虫はどこにいるの?」「虫のお家はどこかな?」といった疑問の声が遊びの中で多く聞かれるようになった。虫の暮らしや、季節の虫について子ども達が興味を持ち始めたことから、「冬の虫について」の探求活動をおこなった。

2. 活動スケジュール

・12月:「冬でも虫はいるのかな?」をテーマに園庭や散歩先で、石の下や落ち葉の中の虫を探し、ダンゴムシやクモなどを見つけ、観察する。

・1月:冬越しをする虫の様子を観察する。図鑑や絵本も活用し、「虫は冬をどう過ごしているのかな」と子ども同士話し合う。

・2月:気温や天気の違いによる虫の様子を比べてみる。暖かい日と寒い日で見つかる虫の違いに気づき観察し、発見したことを友達と共有する。

・3月:春の訪れとともに活動を始める虫を探し、寒かった冬との違いを感じる。寒い時期から暖かくなった季節の移り変わりとともに、虫の暮らし、木々や花などの虫がいる環境の変化についても気づく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(準備した教材・遊具)

- ・虫かご・虫眼鏡・観察ケース・虫の図鑑、絵本・観察カードなど

(環境設定)

・園庭や近隣の林、公園の草むら、花壇、落ち葉の下、石の周りなど虫が見つかりやすい場所で活動を行った。

・子ども達が自由に探索出来る時間を確保し、自分で見つけたり、発見を友だちと共有したり出来る環境を整えた。

・観察コーナーを設け、虫眼鏡や図鑑を用意して、見つけた虫の特徴をじっくり観察したり調べたり出来る環境設定をおこなった。

・「虫は優しく扱う」「観察したら元の場所にかえす」ことを子ども達に伝え確認し、生き物を大切にする気持ちが育つような声かけを大切に、環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

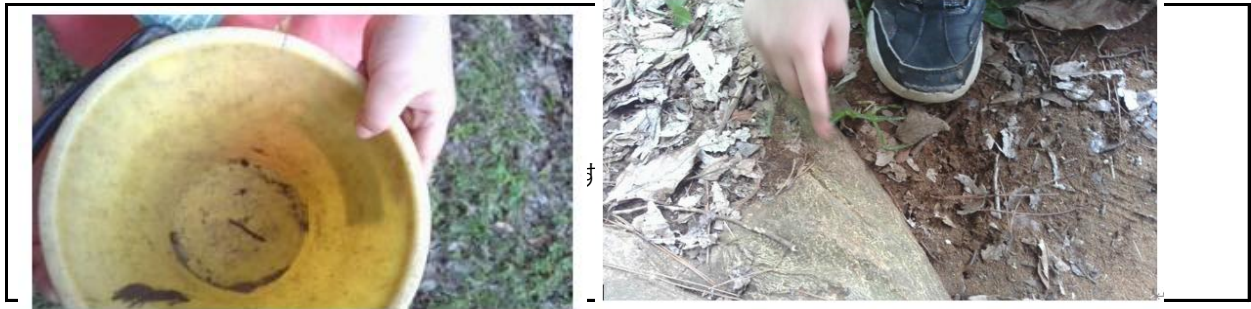
- ・実施時期：12月から3月

冬ならではの虫探しを行い、石や落ち葉をそっとめくりながら、ダンゴムシやテントウムシなど冬を越す虫を探した。「虫がいないね。」「虫さんここで眠っているのかな?」と子ども達は虫の様子を観察し、どこで虫が寒い冬を越すのか? 気になり、園庭だけではなく、近隣の林や公園に行き、虫がいそうな場所を観察する。環境によって虫がいる場所、いない場所があることに気づき、友だち同士で共有する。虫を探し、観察する中で、子ども達は寒い季節、暖かい季節の環境の違いにも気づく姿がみられた。観察、発見したことを図鑑で調べたり、翌日調べたことを活かして虫探しをする姿もみられた。見つけた虫は、優しく元の場所に戻すなど、生き物が安心して過ごせる環境についても子ども同士で考える機会となった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

冬の虫探しを通して、子ども達は季節とともに虫の姿が少なくなっていくことに気づき、「虫はどこにいるの?」「寒いと虫はいなくなるの?」と多くの疑問を持ちはじめ、自ら考えいつも虫がいた場所だけではなく、いろいろな場所を丁寧に探す姿がみられた。虫が少ない時期だからこそ「虫はどこに眠っているのかな」といった季節と虫の関りにも興味を持ち考え、調べる姿が増えてきた。虫の数が少ない冬でも、環境によって見つかる場所が違うことに気づき、調べたことを友だちと共有する姿や、虫について調べて行く中で、生き物を大切にする気持ちも深まった。子ども達からの問いに保育者は、調べる方法を手助けし、調べたい、探したい気持ちを受け止め、保育の中で存分に探索活動ができる環境を大切にした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・虫探しを通して自然への関心がより深まり、観察する力や気づきを言葉で表現する姿、疑問に思ったことを友だちと共有し話し合い、調べる力が探求活動により育まれた。また、生き物を取り巻く環境の大切さと、生き物を優しく扱い、命を大切にする気持ちを育む機会となった。今後も季節ごとの虫や自然に触れる活動を引き続き取り入れ、子ども達の探求心を広げていきたい。